

発表プログラム

セッション1 6月14日 口頭発表10:00~11:45

発表番号	題名	執筆者
S1-1	製鋼スラグ環境利用におけるフッ素溶出量の検討	○中村謙吾・米田稔・松井康人(京都大学大学院工学研究科都市環境工学専攻)
S1-2	酸化鉄系材料によるSe(VI)処理方法の検討(第2報)	○土光政伸・平井恭正(石原産業株式会社)
S1-3	Dehalococcoides属細菌を利用したバイオオーグメンテーションの適用事例(2)	○奥津徳也・田村渉・石田浩昭・上野俊洋(栗田工業株式会社)
S1-4	間隙内二液反応発泡・空気流を用いた油汚染地盤浄化	○寺田曉彦・佐野豊生・清宮崇寛・棚橋秀行(大同大学工学部)
S1-5	油含有土壌におけるファイトレメディエーション	○山田有紀・梶山廣美・松本孝夫・鷲津和宏(昭和シェル石油㈱)
S1-6	バイオレメディエーション利用指針に基づく石油分解菌の安全性評価	○門倉伸行・佐々木静郎・土路生修三・村上順也(熊谷組技術研究所)・久保幹・松宮芳樹(立命館大学生命科学部)
S1-7	多機能盛土による重金属浸出抑制効果に関する実証実験	○大石徹(日鉄環境エンジニアリング㈱)・伊藤洋・門上希和夫(北九州市立大学)・安藤彰宣(旭化成ジオテック㈱)
S1-8	土壌溶出量試験に係る風乾・振とう・ろ過に関する検討試験結果について	○平田桂・加洲教雄・井出一貴・金澤孝仁・大庭良宣・土壌・地下水汚染に係る分析業務検討部会((社)土壌環境センター)
S1-9	鉄粉を用いた吸着層による自然由来の重金属汚染土壌対策事例	○古田智之(株式会社神戸製鋼所)・清水裕(岡本興業株式会社)
S1-10	酸化鉄系スラリー状不溶化材を用いた多点注入工法(斜め施工)による砒素汚染土壌原位不溶化パイロット工事(事例報告)	○秦浩司・西邦夫・石原吉雄・室田真(㈱間組)・森田一太・平井恭正(石原産業㈱)
S1-11	薬材浸透による高濃度重金属汚染地盤対策に関するパイロット工事	○西田憲司・三浦俊彦・佐藤祐輔(大林組)・森田一太・平井恭正・土光正伸(石原産業)
S1-12	土壌洗浄による放射性物質汚染土壌の浄化・減容化	○毛利光男・土田充・保坂幸一・馬場直紀・中嶋卓磨(清水建設株式会社エンジニアリング事業本部土壌環境事業部)
S1-13	微加熱条件下での難分解性揮発性有機化合物の酸化分解に関する検討	○伊藤豊・大石雅也(大成建設株式会社環境本部)・根岸昌範(大成建設株式会社技術センター)・樋口雄一(大成建設株式会社環境本部)
S1-14	埼玉県中西部における地下水砒素汚染と形態分析による溶出メカニズムの検討	○石山高・八戸昭一・濱元栄起・白石英孝・細野繁雄(埼玉県環境科学国際センター)
S1-15	放射性セシウム含有土壌への酸抽出方法の適用性に関する基礎的検討	○保高徹生, 川本徹(独立行政法人産業技術総合研究所)
S1-16	土壌・地下水汚染対策における地中熱利用に関する基礎的検討	○田熊康秀・阿部直人(環境テクノ株式会社)
S1-17	1,4-ジオキサン蒸気の飽和土壌中での拡がりの測定と動態予測モデルの検討	○沢尻麻衣・山田尚弘・小林剛・高橋ゆかり・亀屋隆志・藤江幸一(横浜国立大学大学院環境情報学府/研究院)
S1-18	吸着資材の性能評価に際しての留意点	○植松えり子・成田瑞季・小口智久・常松哲(株式会社イーエス総合研究所)
S1-19	加熱とガス吸引によるVOCs汚染土壌の浄化についての基礎的検討	○横山圭一・山野賢一(ジオテクノス株式会社)
S1-20	放射性セシウム含有土壌の対策技術に関する基礎的検討(その1)	○大山将・中島卓夫・保賀康史(㈱鴻池組)
S1-21	「埋め戻し土壌の品質管理指針」の改定について	○青木鉦二・吉田直樹・佐波弘一朗・深松信良・日笠山徹巳・鈴木弘明((社)土壌環境センター技術標準化部会)
S1-22	パーム・ヤン脂肪酸エステル絶縁油の土壌中での分解性	○星野隆行(栗田工業株式会社)・川原敬治・土田栄治(西日本旅客鉄道株式会社)・小出英延(富士電機株式会社)・金谷昭範(ライオン株式会社)・上野俊洋(栗田工業株式会社)
S1-23	パワーブレンダー工法によるVOCs汚染対策	○上村宏允・草場周作・中嶋聖史(株式会社アイ・エス・ソリューション)
S1-24	エステル類含有汚染土壌のバイオパイル工法による大規模処理事例	○河野麻衣子・河合達司・川端淳一・西牧宏明・仲山賢治(鹿島建設株式会社)・桐山久(東邦ガス株式会社)
S1-25	クロロエチレン類汚染サイトにおける脱塩素分解微生物および環境因子の解析	○吉川美穂(ケミカルグラウト株式会社)・竹内美緒・張銘・駒井武(独立行政法人産業技術総合研究所)
S1-26	岩手・青森県境不法投棄現場地下水における嫌氣的ベンゼン分解の可能性	○高橋惇太・栗栖太(東京大学大学院工学系研究科)・永井宏征(AGCエンジニアリング株式会社)・春日郁朗・古米弘明(東京大学大学院工学系研究科)
S1-27	土壌汚染の調査・対策現場で生じる不具合事例に基づくハンドブックの作成とアンケートによる評価	○大野幸正・渡部貴史・大石雅也・小林公一・西澤祐司((社)土壌環境センター)・技術者向け現場管理ハンドブック部会)
S1-28	堆積岩中の自然由来重金属の化学形態とその溶出挙動への影響	○小川泰正・増田俊介・須藤孝一・井上千弘(東北大学大学院環境科学研究科)
S1-29	高濃度VOCs汚染土の原位嫌気微生物分解技術の研究(その2)	○緒方浩基・四本瑞世(株式会社大林組技術本部技術研究所)
S1-30	フェントン様反応を利用した浄化薬剤の開発	○海老原孝・濱口高嘉・君塚健一(三菱ガス化学㈱東京研究所)
S1-31	フェントン反応剤を用いた原位土壌洗浄浄化の施工事例	○中間哲志・和知剛・大澤武彦・尾崎和宏(㈱アイ・エス・ソリューション)
S1-32	アパタイトと含鉄資材を併用した鉛とアンチモンの不溶化	○小川翔平・加藤雅彦・佐藤健(岐阜大学工学部社会基盤工学科)

セッション2 6月14日 口頭発表14:30~16:00

発表番号	題名	執筆者
S2-1	盛土浸出水の水質経年変化	○今田真治・嶋将志(エイト日本技術開発)
S2-2	福島県における放射性Cs汚染土壌のカヤツリグサ科マツバイによるファイトレメディエーション	○榎原正幸(愛媛大学大学院理工学研究科)・久保田有紀(愛媛大学大学院理工学研究科、(株)エヌ・イーサポート)
S2-3	サイト環境リスク評価モデルSERAMの重要パラメーターの感度解析評価	○奥田信康・佐々木哲男・村上淑子・小森敦史・中島誠・リスク評価方法検証部会(土壤環境センター)
S2-4	原位置微細鉄粉注入及び嫌気性バイオレメディエーション法による塩素化エチレン汚染地下水の浄化	○塩谷剛・石田浩昭・上野俊洋(栗田工業株式会社プラント生産本部エンジニアリング部門)
S2-5	促進化過硫酸法の開発	○野本岳志(オルガノ株式会社)・田熊康秀・阿部直人(環境テクノ株式会社)・江口正浩(オルガノ株式会社)
S2-6	大規模用地における土壌汚染対策の一事例～原位置浄化の技術開発を柱として～	○桐山久(東邦ガス株式会社)・竹崎聡・西田憲司・西川直仁・藤井治彦(株式会社大林組)
S2-7	油含有土壌のバイオレメディエーション促進方法について(その3)	○大橋貴志・片岡昌裕・宮崎一郎・渡辺徹(株式会社NIPPO)
S2-8	東京湾海水から分離した鮟物油分解菌の実用化について	○佐藤徹朗(国際環境ソリューションズ株式会社)・鈴木誠治・今田千秋(東京海洋大学大学院)
S2-9	複合表層構造による重金属の蒸発移行抑制効果	○石井大悟(旭化成ジオテック株)・伊藤洋(北九州市立大学)・大石徹(日鉄環境エンジニアリング株)・安藤彰宣(旭化成ジオテック株)・門上希和夫(北九州市立大学)
S2-10	土壌汚染調査・対策におけるLCCO ₂ の算出とその特性	○大村啓介・川浪聖志・丸石優・星野隆行・土壤環境センターCO ₂ 排出量検討部会(土壤環境センター)
S2-11	土壌・地下水におけるふっ素の基準超過事例とその健康リスクの検討	○田中宏幸(鴻池組)・新開千弘(大林組)・伊藤浩子(地域地盤環境研究所)・平野嘉隆(応用地質)・勝見武(京都大学大学院)・地下水地盤環境に関する研究協議会地盤環境保全対策研究委員会地下水・土壌汚染浄化対策WG
S2-12	ブラウン管ガラスの溶解にともなう鉛析出挙動	○井本由香利・杉田創・今泉博之((独)産業技術総合研究所)
S2-13	1,4-ジオキサン除去に関する検討	○椎根大・小熊治(AGCエンジニアリング株式会社)
S2-14	吸着材・土壌の放射性物質吸着及び溶出特性について	○田中真弓・川端淳一・河合達司・河野麻衣子(鹿島建設)
S2-15	海水および地下水中のCs-137等の地質媒体への吸着挙動に関する実験的検討	○藤川陽子・福井正美(京都大学原子炉実験所)
S2-16	モデル汚染土壌を用いた環境雰囲気による鉛の存在形態変化の測定・解析	○久保寺良光(横浜国立大学大学院環境情報学府)・高橋ゆかり・小林剛(横浜国立大学大学院環境情報研究院)・劉予宇(東北大学大学院環境科学研究科)・浦野紘平(横浜国立大学大学院環境情報研究院)
S2-17	吸光光度法を用いた土壌重金属等の迅速分析	○三原洋一・稲垣静枝・山田理映子・大森優子・熱田真一・糸永真吾(株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング)
S2-18	天然ゼオライトのセシウム吸着現象に関する考察と利用方法についての提言	○武島俊達・森本辰雄・川村真由子・武田都(株式会社アステック東京)・村井貞人(株式会社間組)
S2-19	大規模不法投棄現場東側における環境水中のハロゲン酸化物のモニタリング	○颯田尚哉・立石貴浩・米澤彩子・吉川哲磨・太田晴信・宮野幸子(岩手大学農学部)
S2-20	ベンゼン汚染地下水の注水バイオスパーキング工法による浄化対策(その2)	○高畑陽(大成建設株式会社技術センター)・池上和広・住美希恵(大成建設株式会社名古屋支店)・篠原直規・須藤泰幸(大成建設株式会社環境本部)・桐山久(東邦ガス株式会社生産計画部)
S2-21	土壌水分ヒステリシスがガス輸送係数に及ぼす影響	○笹沼公美(埼玉大学理工学研究科)・濱本昌一郎・川本健・小松登志子(埼玉大学理工学研究科)・埼玉大学環境科学研究センター)・榎利博(National Cooperative for the Disposal of Radioactive Waste, Switzerland)
S2-22	鉛汚染土壌に対する洗浄・磨砕処理に関する研究	○吉村雅仁・森本聡・三ヶ田仁(エコシステム花岡)
S2-23	電気伝導度測定による地層判定	○和知剛・小林裕一・清水祐也(株式会社アイ・エス・ソリューション)・北詰昌義・川元勇治(株式会社フジタ)
S2-24	塩素化エテン類脱塩素化集積物における微生物群集構造の解析と脱塩素化能力	○森岡啓幸・佐藤成晃・判治輝章・二又裕之(静岡大学大学院・工学研究科)
S2-25	新規過硫酸塩製剤のVOCs分解挙動	○金田崇良(株)ADEKA環境・エネルギー材料研究所)
S2-26	気泡を用いた鉄粉混合による原位置浄化対策手法の改良	○庄司瑞彦・小川正男・横山圭一(ジオテクノス株式会社)・菊地達也(DOWAエコシステム株式会社)
S2-27	難不溶化特性を示す水銀化合物に関する不溶化事例	○福武健一・日笠山徹己(株式会社大林組エンジニアリング本部)・三浦俊彦・井手一貴(株式会社大林組技術研究所)

セッション3 6月15日 口頭発表10:00~11:45

発表番号	題名	執筆者
S3-1	バイオレメディエーションによる油汚染土壌浄化条件の検討(フィールドおよびラボ試験での同時比較)	○廬 鶴・南場哲・阿部久起(三菱ガス化学(株)新潟研究所)・石垣秀勝(株)酒田港リサイクル産業センター)・小山新司(林建設工業(株))・佐藤敏(株)テルナイト)
S3-2	有機酸による重金属汚染土壌浄化の効率化	○立元陽子・伊藤洋(北九州市立大学国際環境工学部)
S3-3	地下水汚染の長期モニタリング(3)	○渡辺正子
S3-4	二酸化炭素地中貯留におけるCO ₂ 漏えいモニタリング(I)	○三宮明(電源開発)・伊藤洋・染矢元記(北九州市立大学国際環境工学部)・多田康一郎(電源開発)
S3-5	オゾンマイクロバブルによる地下水浄化工法の適用事例	○高木一成(地盤環境エンジニアリング株式会社)
S3-6	鉄化合物を用いた硝酸性窒素対策の検討	○高橋諒介・西村雅佳・清水裕(岡本興業株式会社土壌環境チーム)・柳瀬昌彦・大西正捷(ステンレスパイプ工業株式会社)・伊藤健一(宮崎大学国際連携センター)
S3-7	フェントン反応による油分解における芳香族の影響	○中川勇樹(日立建機(株))・須藤孝一・井上千弘(東北大学大学院環境科学研究科)
S3-8	セレンに富む残土排水のカヤツリグサ科マツバイによるファイトレメディエーション	○榊原正幸・蔵本翔(愛媛大学大学院理工学研究科)・岡崎健治・伊東佳彦・大日向昭彦(独)寒地土木研究所)・竹花大介(株)地圏総合コンサルタント)
S3-9	多機能盛土における降雨浸透抑制に関する実証実験(I)	○安藤彰宣(旭化成ジオテック)・伊藤洋(北九州市立大学)・大石徹(日鉄環境エンジニアリング)・松尾俊和(泉商会)
S3-10	多機能盛土による放射性物質汚染汚泥の放射線遮蔽実証実験(I)	○松山秀明(日鉄環境エンジニアリング)・伊藤洋(北九州市立大学)・大石徹(日鉄環境エンジニアリング)・安藤彰宣(旭化成ジオテック)・上野崇(草野産業)・加藤隆也(NPO法人環境技術支援ネットワーク)
S3-11	土壌ガス調査用捕集バッグのVOCsガス濃度保持性能の評価	○榎本幹司・鈴木義彦(栗田工業株式会社)
S3-12	放射性物質による土壌汚染の調査法に関する手法の検討	○関友博・鈴木弘明・中島誠・田澤龍三・保賀康史・放射性物質による土壌・地下水汚染の調査・対策に係る研究部会(土壌環境センター)
S3-13	土壌・地下水汚染の措置・対策時の技術適用に関するアンケートの集計結果について	○保賀康史・中島誠・古市登・田澤龍三・実態把握調査部会(土壌環境センター)
S3-14	土壌中の鉛の長期溶出挙動に関する一考察	○保高徹生・井本由香里・張銘(独立行政法人産業技術総合研究所)
S3-15	地下水サンプリング方法の違いによる水質への影響	○佐藤秀之・横溝透修(株式会社ランドコンサルジュ)
S3-16	VOCs汚染地盤の原位置微生物浄化における微生物環境変化の把握(その2)	○四本瑞世・緒方浩基・千野裕之(株式会社大林組)
S3-17	低コスト迅速な土壌無機汚染物質の測定方法の検討と課題	○浦野真弥・久保さゆり(環境資源システム総合研究所)・越前令枝・浦野紘平(横浜国立大学環境情報研究院)
S3-18	高分子系改質剤を用いた災害廃棄物および津波堆積物の分別事例	○西村良平(株)鴻池組)・阿部守(多賀城市)・大山将・安達忍・楠佳男(株)鴻池組)・寺尾好太(テクニカ合同(株))
S3-19	土壌汚染に関わる主要な曝露経路と評価手法の整理	○上田裕之(横浜国立大学大学院環境情報研究院/学府)・小林剛(横浜国立大学大学院環境情報研究院/学府)・横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター)・山田尚弘・酒井実・高橋ゆかり・亀屋隆志(横浜国立大学大学院環境情報研究院/学府)
S3-20	フタル酸ジエチルヘキシル(DEHP)を含んだ油汚染土壌の浄化特性	○河合達司・川端淳一・河野麻衣子・西牧宏明・仲山賢治(鹿島建設株式会社)・桐山久(東邦ガス株式会社)
S3-21	嫌気性微生物を利用した塩素化エチレン汚染地下水の浄化実証試験	○伊藤雅子・高畑陽(大成建設(株))・山副敦司(製品評価技術基盤機構)・関口勇地(産業技術総合研究所)・野尻秀昭(東京大学)・福田雅夫(長岡技術科学大学)
S3-22	各種バイオスティミュレーション用薬剤のVOCs分解挙動	○柴崎淳二・小池誠治(ADEKA)・養王田正文(東京農工大学)・田村紀義(PaGE Science)・篠田功(ADEKA総合設備)
S3-23	酸化マグネシウム系材料による各種重金属汚染に対する適用事例の紹介	○松山祐介・柳谷昌平・佐野奨・守屋政彦・高野博幸(太平洋セメント株式会社)
S3-24	災害廃棄物仮置場における土壌・水質調査	○晴山涉・山口勉功・大河原正文・中澤廣(岩手大学工学部)
S3-25	油分を対象としたバイオレメディエーションにおける施工管理としての油分解菌の計数	○小松大祐・畔津聖・宮城盛・西村実(株)アイ・エス・ソリューション)
S3-26	単粒・団粒構造を有する土壌の熱伝導特性:粒径および形状による影響	○鴨志田剛久(埼玉大学大学院理工学研究科)・濱本昌一郎・川本健(埼玉大学大学院理工学研究科)・埼玉大学総合研究機構環境科学研究センター)・榊利博(National Cooperative for the Disposal of Radioactive Waste, Switzerland)・小松登志子(埼玉大学大学院理工学研究科)・埼玉大学総合研究機構環境科学研究センター)
S3-27	区間推定による土壌汚染調査方法の一考察	○前田健太郎・鈴木圭一・新谷剛(パナソニック環境エンジニアリング株式会社)
S3-28	活性化した過硫酸ナトリウムによる迅速な汚染源(NAPL)浄化の事例	○Doug Carvel P.E.(MECx,LP,USA)・茅野徹(米国Pacific Rim Services)
S3-29	地質試料中の重金属類の環境中での形態変化	○井上千弘・小川泰正・奈良郁子・須藤孝一・土屋範芳(東北大学大学院環境科学研究科)・篠田弘造(東北大学多元物質科学研究所)
S3-30	土壌中重金属の自然・人為由来の判別に関する研究	○新家淳治・片山貴幸・巽正志・秋永克三・山口哲夫(三重県保健環境研究所)
S3-31	地球化学的手法を用いた都市部鉛汚染土壌の実態解明	○高階義大(洛菱テクノカ株式会社)
S3-32	ゆっくり放出する有機物供与体(乳化した植物油)による土壌中のウラン還元	○Dick Raymond・Mike Lee(米国Terra Systems, Inc.)・茅野徹(米国Pacific Rim Services)・W-M. Wu(Stanford University)・F. Zhang(Oak Ridge National Laboratory)
S3-33	地震と津波により発生した廃棄物混じり土砂の物理化学特性	○森田康平(京都大学大学院工学研究科修士課程)・勝見武・高井敦史・乾徹(京都大学大学院地球環境学)

セッション4 6月15日 口頭発表14:30~16:15

発表番号	題名	執筆者
S4-1	発光バクテリアを用いたバイオアッセイによる土壌汚染評価手法の開発ー土壌溶出成分の影響ー	○杉田創・井本由香利・駒井武(独立行政法人産業技術総合研究所)
S4-2	油土壌汚染のオンサイトスクリーニング法の検討	○高階修・岡田章・岡田光晴(株式会社テルム・環境エンジニアリング事業部環境保全部)
S4-3	MIP-CPT法を用いた深度別のVOCs現地迅速成分分析法の開発	○青木健二・杉山勝彦((株)環境総合テクノス)・西田憲一(三重県環境森林部)・巽正志(三重県保健環境研究所)・古市徹・石井一英(北海道大学)
S4-4	鉄粉と塩化物の混合による重金属浄化の検討	○飯島勝之・吉川英一郎・古田智之(㈱神戸製鋼所)
S4-5	カヤツリグサ科マツバイによる重金属汚染水のファイトレメディエーションにおけるクリンカッシュの有効性	○藏本翔・榊原正幸(愛媛大学大学院理工学研究科)・佐野栄(愛媛大学教育学部)・世良耕一郎(岩手医科大学サイクロトロンセンター)
S4-6	土壌汚染状況調査における調査地点設定システムの測位精度評価	○岡本修(茨城工業高等専門学校)・三浦光通・高橋徹(環境研究センター)・広瀬篤(デジメイト)
S4-7	原位置噴射攪拌工法の化学酸化への適用	○片岡昌裕・大橋貴志・伊藤紀与人・渡辺徹(株式会社NIPPO技術開発部技術開発第二グループ)
S4-8	サイト環境リスク評価モデルSERAMによるガソリン汚染サイトの健康リスクに関するケーススタディ	○田中宏幸・奥田信康・佐々木哲男・原元利浩・杉原勝利・リスク評価方法検証部会(土壌環境センター)
S4-9	簡易型FIA装置による六価クロムの定量および土壌試験への適用	○尾崎成子・辰己美紀・中村栄子(横浜国立大学大学院環境情報研究院)
S4-10	ソルゴー型ソルガムによる亜鉛と銅のファイトレメディエーション効果	○森本聡(エコシステム花岡株式会社)・梶原史洋・渡邊亮亮(DOWAエコシステム株式会社)・吉村雅仁(エコシステム花岡株式会社)・川上智(DOWAエコシステム株式会社)
S4-11	鉄粉を用いた土壌中の硝酸濃度減衰の評価	○井上一哉・島田遥・田中勉(神戸大学大学院農学研究科)・古田智之・吉川英一郎・飯島勝之(㈱神戸製鋼所)
S4-12	岩石を主体とした盛土・自然堆積土中に存在する砒素の分布状況の把握および溶出特性の評価	○大橋優子・沼野浩祐・吉川治雄(応用地質株式会社中部支社)
S4-13	放射性セシウム含有土壌の対策技術に関する基礎的検討(その2)	○中島卓夫・大山将・保賀康史・松生隆司・吉岡由郎・西村良平(㈱鴻池組)
S4-14	放射性セシウム濃度の現場迅速分析について	○氏家亨・山村充(国土防災技術株式会社)・成沢昇(一般財団法人日本ガス機器検査協会)
S4-15	長期屋外曝露試験による自然由来重金属を含有する岩石の溶出挙動	○乾徹(京都大学大学院地球環境学学)・片山真理子(京都大学大学院工学研究科修士課程)・勝見武・高井敦史(京都大学大学院地球環境学学)
S4-16	放射性セシウムの土壌からの抽出挙動	○木下哲一・谷本祐一(清水建設㈱技術研究所)
S4-17	放射性物質による土壌汚染のリスク評価	○藤長愛一郎(大阪産業大学工学部)・米田稔・池上麻衣子(京都大学工学研究科)
S4-18	金属鉄粉によるクロルデン系農薬の脱塩素反応	○須藤孝一・千葉裕己・白鳥寿一・井上千弘(東北大学大学院環境科学研究科)・鎌田雅美(DOWAエコシステム株式会社)
S4-19	分解反応解析に関する基礎的検討	○鈴木圭一・安藤卓也(パナソニック環境空調エンジニアリング株式会社)
S4-20	有機性廃棄物由来の堆肥による鉛汚染土壌の不溶化と生態系修復	○北原直(岐阜大学工学部、現在、株式会社アイ・エス・ソリューション)・八木良介・加藤雅彦・佐藤健(岐阜大学工学部)
S4-21	太陽光と酒石酸鉄錯体を用いたクロロエチレン類の光分解法の開発	○ラビヤ ママツ、晴山渉、中澤廣(岩手大学大学院工学研究科)
S4-22	不溶化処理技術の安定性等アンケート調査結果	○篠原隆明・大山将・片山昌裕・秦浩司・王寧((社)土壌環境センター技術標準化部会不溶化WG)
S4-23	ベンゼンおよびシアン汚染地下水の原位置浄化	○西川直仁(株式会社大林組技術本部)・桐山久(東邦ガス株式会社生産計画部)・佐藤祐司・緒方浩基・山田祐樹・藤井治彦(株式会社大林組技術本部)
S4-24	放射性土壌の洗浄処理について	○鎌田雅美・友口勝(DOWAエコシステム)
S4-25	栄養塩注入に伴う油汚染サイトの微生物分解容量の変化	○宋徳君・田村和嗣・打木弘一・原 学・西島正範(基礎地盤コンサルタンツ株式会社)
S4-26	VOCs汚染浄化技術の現状に関する考察	○張銘(独立行政法人産業技術総合研究所)・吉川美穂(ケミカルグラウト株式会社)・竹内美緒・駒井武(独立行政法人産業技術総合研究所)
S4-27	放射能土壌汚染に基づく空間線量の将来予測と除染の必要性に関する検討	○佐藤昌哉(住友金属工業)・米田稔・松井康人(京都大学工学研究科)・島田洋子(摂南大学理工学部)
S4-28	アンチモン含有底泥に対する不溶化材配合計画と存在形態の地域特性評価	○太田綾子・根岸昌範(大成建設株式会社技術センター)・樋口雄一(大成建設株式会社土壌環境事業部)
S4-29	油汚染サイトの原位置土壌洗浄における最適な薬剤と工法の選択	○小林裕一(㈱アイ・エス・ソリューション)・佐藤秀之・角田真之(㈱ランドコンサルジュ)
S4-30	カラム試験とシリアルパッチ試験におけるPb溶出挙動の比較	○下村卓矢・千田善秋(ジオテクノス株式会社)・川上智(DOWAエコシステム株式会社)・竹下恭平・所千晴(早稲田大学理工学術院)
S4-31	酸化剤注入による原位置浄化工法の適用性検討	○青木陽士・馬場直紀(清水建設株式会社エンジニアリング事業本部土壌環境事業部)
S4-32	化学品による土壌汚染とその管理対策への提言～「数理モデルによる化学品使用許容量の推定」	○長谷恵美子(株式会社住化分析センター、明治大学大学院理工学研究科)・大悟法弘充(株式会社住化分析センター)・北野大(明治大学大学院理工学研究科)・川辺能成・駒井武(独立行政法人産業技術総合研究所)
S4-33	油汚染調査・対策における油臭判定の定量化の検討について(その3)	○石井進・岩崎好陽・重岡久美子・諸井澄人(におい・かおり環境協会)・中島誠・平田桂(土壌環境センター)